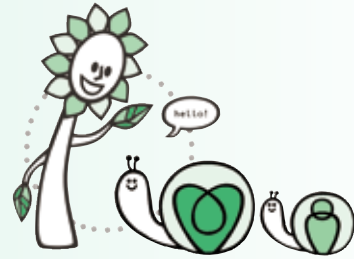


ひまわりプラン2

(第2次地域福祉活動計画)

21年度活動報告



平成21年度からひまわりプラン2が始まり、早くも一年が経ちました。南区を少しでも暮らしやすい街にするために、地域住民、ボランティア団体、福祉施設、NPO法人、区役所等と共に実施してきました。

今回は、それぞれの基本計画から主だった実施項目を中心に一年間の活動をご報告いたします。

地域で支えあう関係づくり

<防災ずきんづくりで地域の交流> <地域で防災意識の向上>

希薄化が進んでいる地域住民のつながりを取り戻すため、多くの人が関心を持っている「防災」をキーワードに挙げ、様々な視点から仕掛けづくりを行ってきました。名古屋みなみ災害ボランティアネットワークや桜台高校ボランティア等と連携しながら、誰でも簡単にできる防災ずきんづくりを各地で開催し、住民同士が交流できる場づくりの提案をしてきました。

そして試行錯誤しながら、簡単に手早く、子どもでも作れる防災ずきんのレシピが完成しました。各地でレシピを活用していただき、防災ずきんづくりを通して「人と人とのつながり」が広がればと考えています。 ※レシピは本会HPに掲載中。(URLは表紙に記載)

●防災ずきんづくり講座のこれまでの実績●

- 8/27 ▶ サマーボランティアスクール事後研修会、
- 9/5 ▶ 伊勢湾台風50年市民防災の集い、11/21 ▶ 宝学区防災教室、
- 2/7 ▶ 千鳥学区防災講座、2/21 ▶ 防災ずきんづくり講座、3/11 ▶ ふれあい広場



多種多様な人材を活かした事業づくり

<男性が地域活動をするためのきっかけづくり>

お仕事の都合などでなかなか町内活動やボランティアなど地域活動に目を向けられないお父さん達に、地域活動するキッカケをもってもらうための講座「お父さんと子どものチャレンジセミナー」を開催しました。

講座終了後、参加したお父さん達が再度集まり自主グループが出来上がるまでに発展しました。グループ名は「M・O・C（南区お父さんクラブ）」。お父さん同士の交流の場づくりを目的として様々な活動を展開していく予定。メンバーは随時募集中。企画内容として、手打ちうどん作りや餃子づくりなど、親子で楽しめるものを検討中。活動にご興味のある方は、お気軽に本会までご連絡ください。活動状況は、随時HPに掲載予定！



つながりができる仕組みづくり

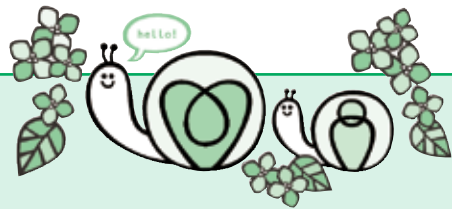
<障がい児・者およびその家族の意識調査>

<障がい児・者が参加しやすい地域行事の実施>

障がい児・者の中には、グループホームなどに入居していたり、自宅から学校、施設、日中活動事業所に通っていたり、様々な形で地域生活を行っています。しかし、障がいがあることで、日常において地域（住民）との関係（つながり）づくりがうまく築けないという現状があります。

その関係をつくるための第一歩として、障がい児・者やその家族を対象に、地域との関わりなどに関する意識を調査しようと、アンケートを実施しました。

地域においては、近所に障がいがある人が住んでいることは知っているが、どのように声をかけていいのかわからないという声も多く聞きます。今後、地域行事などを通じ互いに理解しあえる機会、きっかけをつくり提案できるようにアンケート結果を活かしていきたいと考えています。



●地域福祉活動計画とは…

地域福祉活動計画は、地域に暮らす人たち一人ひとりをはじめ、社会福祉協議会、地元の商店、企業、学校、福祉施設、NPO 法人、区役所など、その地域に関係のある全ての方々が、地域社会を担う一員として、自分の地域について考え、みんなで住みよい地域づくりを行っていくための行動計画です。